

# デジタル社会における 中央銀行デジタル通貨（CBDC）の役割

-- 海外の取り組みを中心に --

2023年5月24日

明治大学政治経済学部  
小早川 周司

この資料は、個人的な見解を取りまとめたものであり、所属する組織・機関の公式見解ではありません。ご質問等は、[econkoba@meiji.ac.jp](mailto:econkoba@meiji.ac.jp) までお願いします。

# デジタル社会において 利用者（ユーザー）が求める支払・決済サービス

いつでも

- 24時間、365日使えるサービス

どこでも

- インターネットの有無に関係なく利用できるサービス
- 相互運用性の高いサービス

誰でも

- 幅広い層への利便性の高いサービス
- 安価なサービス

安心して

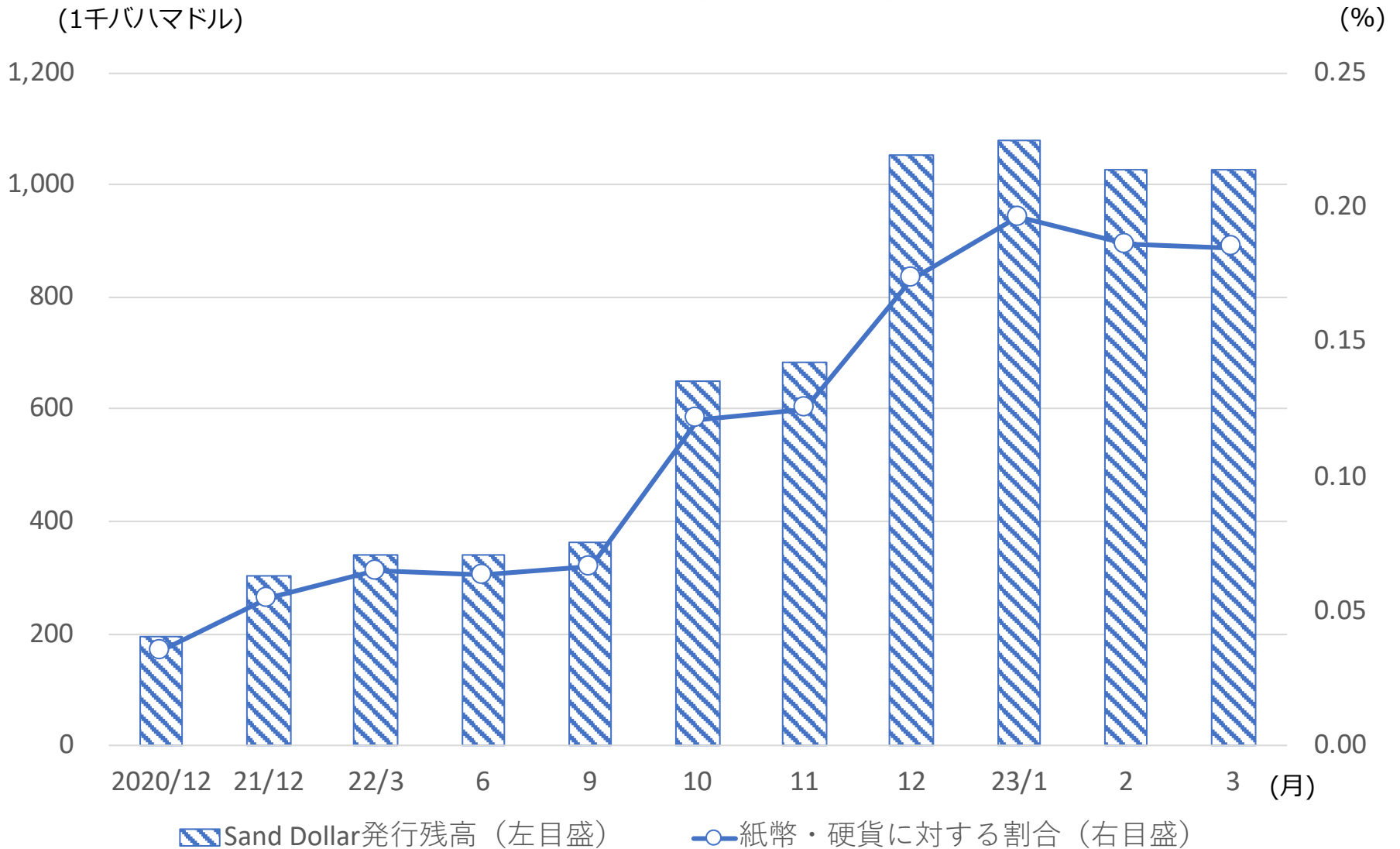
- サイバー攻撃や不正取引等への耐性の高いサービス
- プライバシーへの配慮と情報の利活用を両立したサービス

# 本日のテーマ

1. CBDCを導入・検討する海外諸国の動向
2. 海外の取り組みから見えてきた傾向
3. 「民間との協調」の具体像
4. まとめ

# 1. CBDCを導入・検討する海外諸国の動向

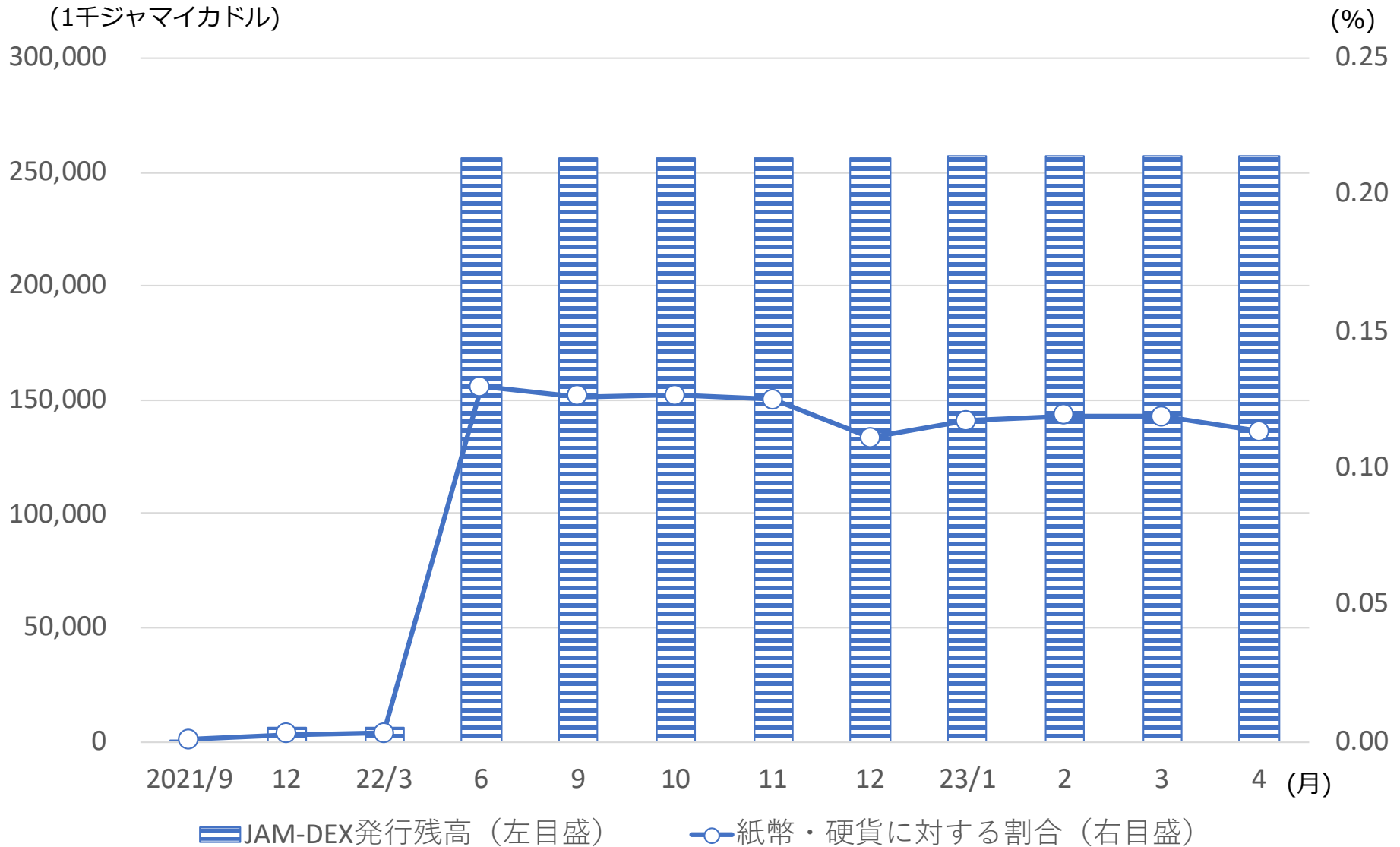
# Sand Dollar (バハマ) の動向



(注) バハマは、2020/10月にCBDC (Sand Dollar) を導入。

(出所) バハマ中央銀行のデータを基に作成。

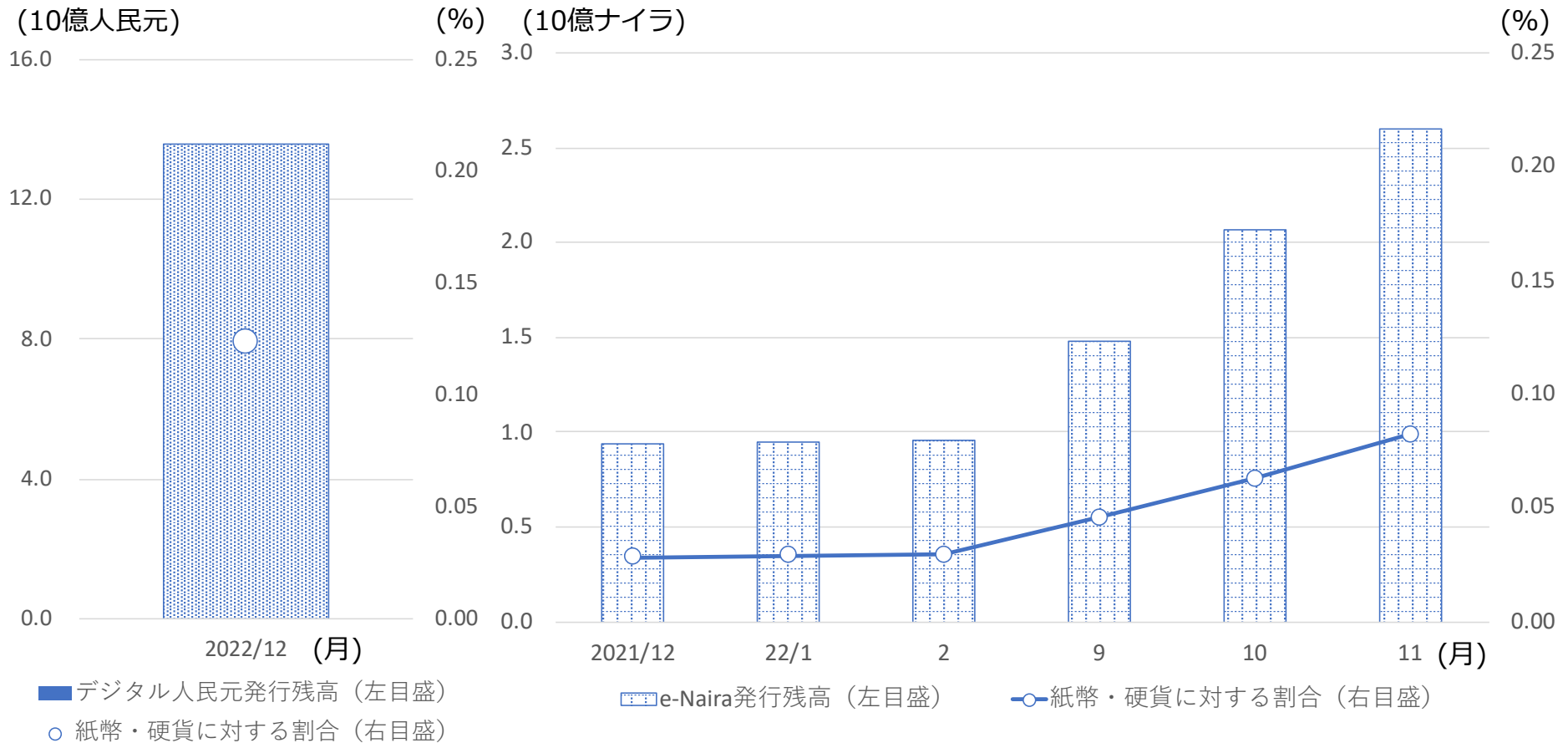
# JAM-DEX（ジャマイカ）の動向



(注) ジャマイカは、2021/8月にCBDC (JAM-DEX) を導入。

(出所) ジャマイカ中央銀行のデータを基に作成。

# デジタル人民元（中国）、 e-Naira（ナイジェリア）の動向



(注) ナイジェリアは、2021/10月にCBDC (e-Naira) を導入。

(出所) 中国人民銀行およびナイジェリア中央銀行のデータを基に作成。

## 2. 海外の取り組みから見えてきた傾向



# 海外の取り組みから見えてきた傾向：全体感

既存の法定通貨を補完、民間マネーとの共存を指向

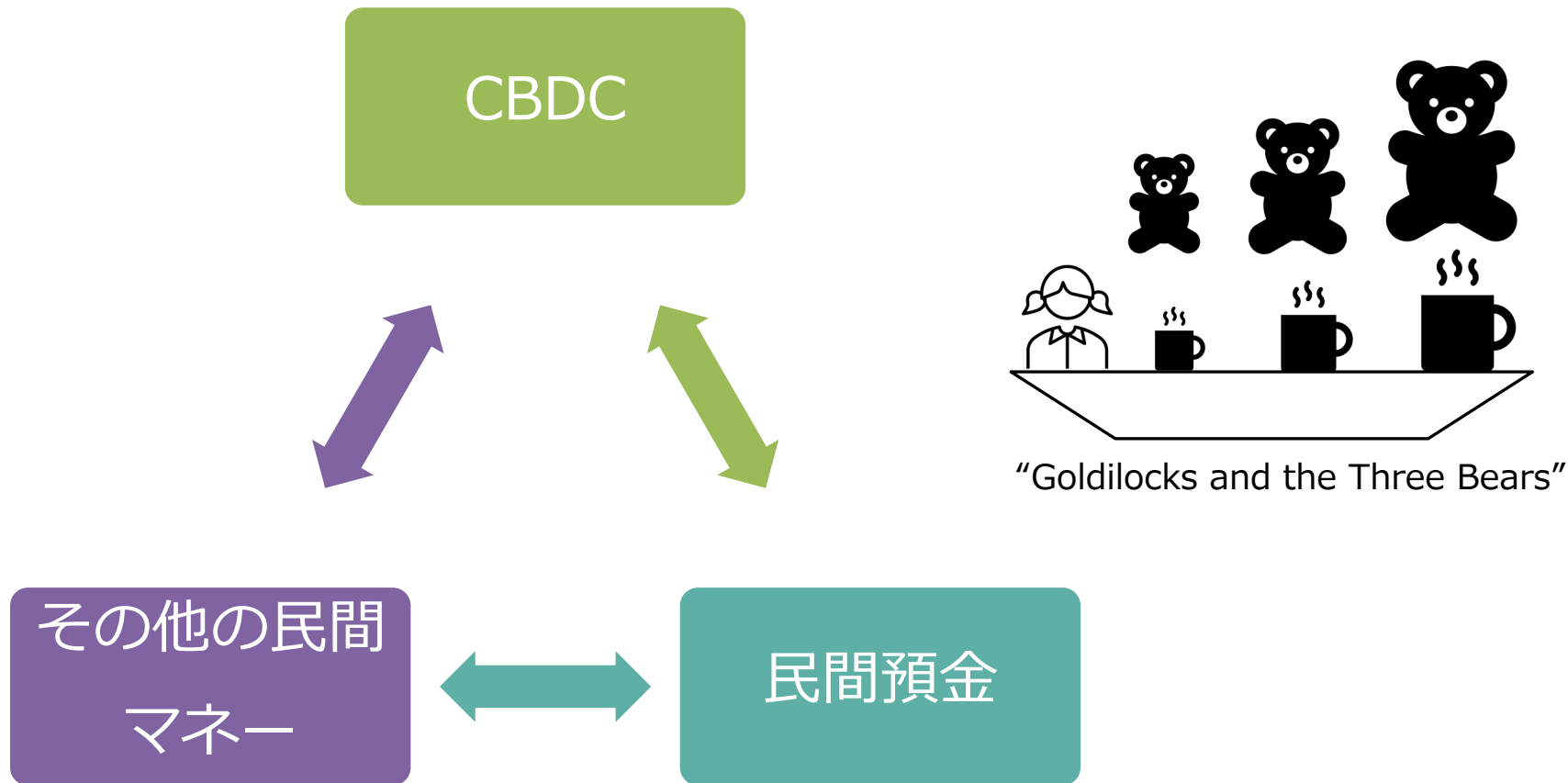
仲介機関を通じた階層構造に基づく発行（間接型のCBDC）

金融政策の手段としての利用は検討対象外

金融システム面への影響を慎重に評価

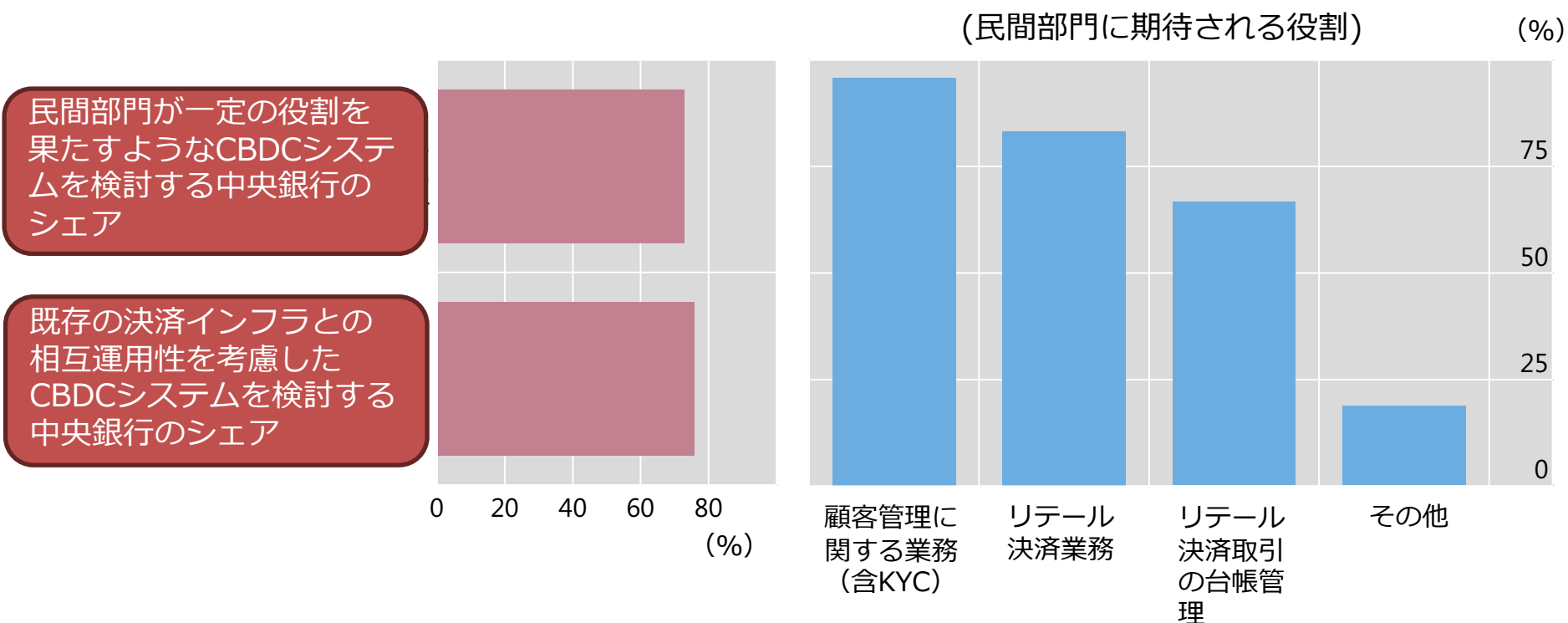
プライバシー保護、法令遵守（AML/CFT）、データ利活用とのバランス

# We do not want to be “too successful” ... But the digital euro should be “successful enough” (注)



(注) Introductory statement by Fabio Panetta, Member of the Executive Board of the ECB, at the Committee on Economic and Monetary Affairs of the European Parliament, March 30, 2022.

# キーワードは「民間との協調」 民間事業者や民間インフラとの共存を目指した取り組み



(注) 国際決済銀行 (BIS) が、各国の中央銀行 (81行) を対象として2021年秋に実施したアンケート調査に基づく。

(出所) “Gaining momentum – Results of the 2021 BIS survey on central bank digital currencies,” Anneke Kosse and Ilaria Mattei, BIS Papers No 125, Bank for International Settlements, May 2022.

### 3. 「民間との協調」の具体像

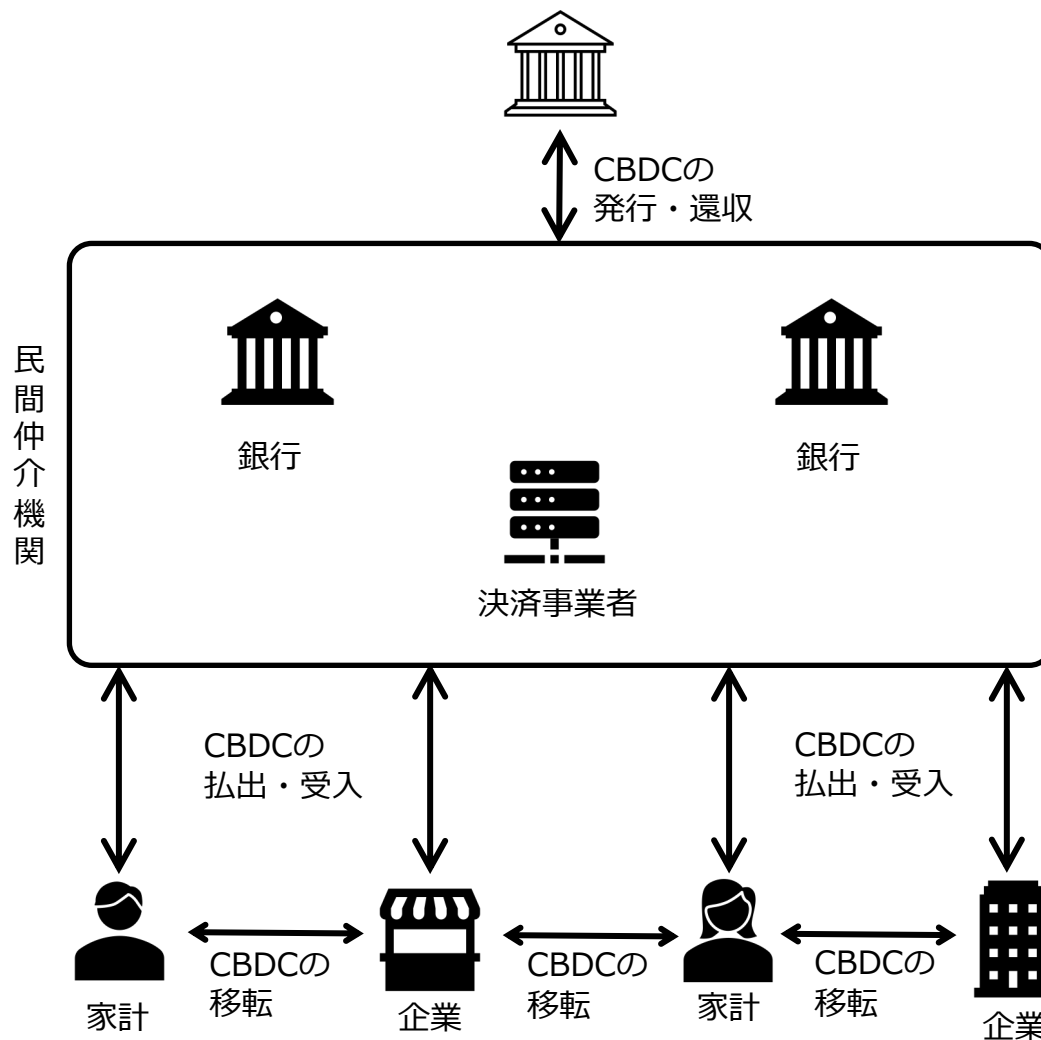
# 「民間との協調」の具体像

CBDCシステムにおける民間との協調

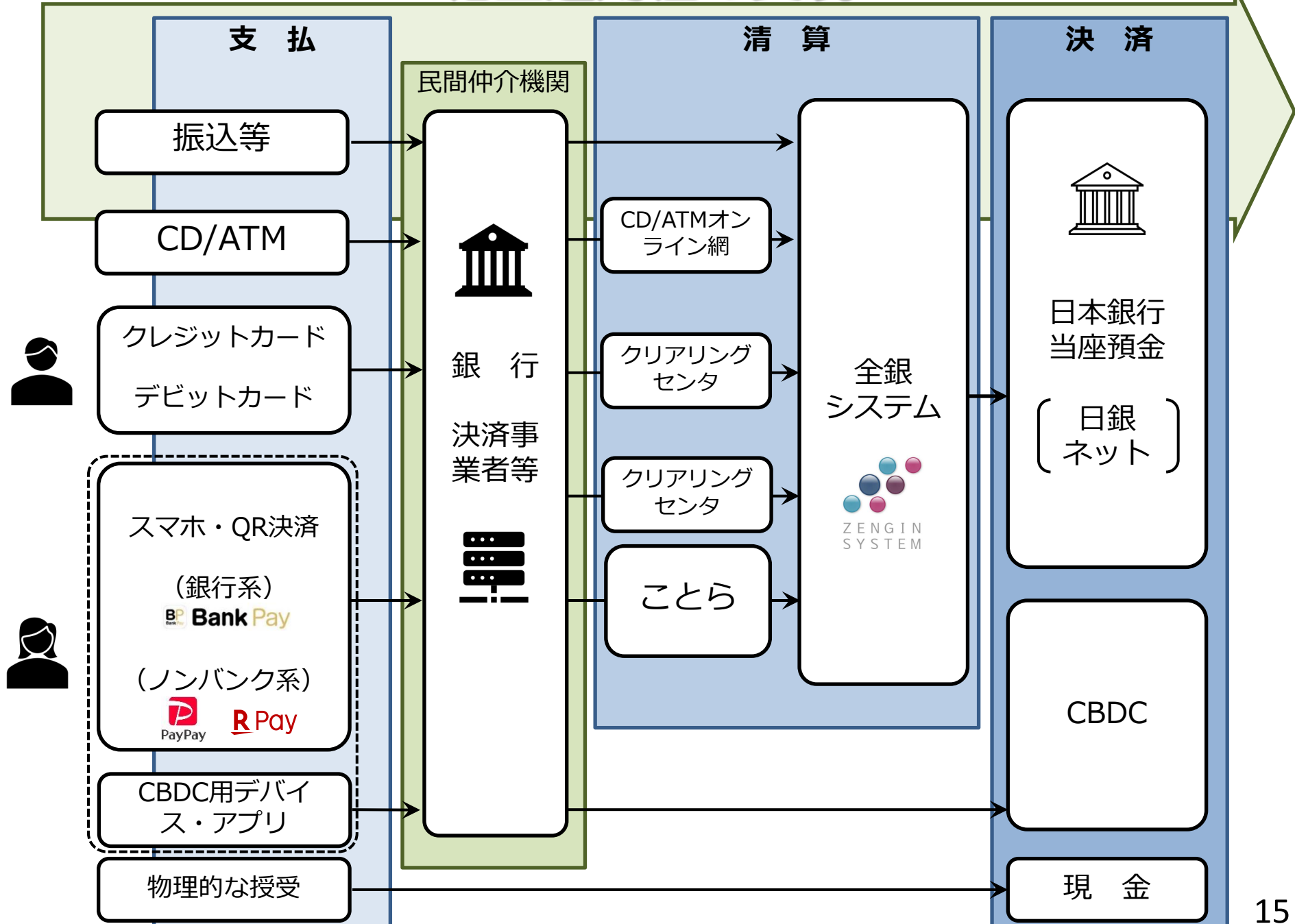
民間マネーとの相互運用性の実現に向けた協調

CBDCを用いた付加サービスの創出に向けた協調

# 「間接型」のCBDC発行



# 相互運用性の実現



# 様々なサービスの創出

基礎サービス

CBDCの流通（払出、移転、受入）に関する仲介業務

付加サービス

CBDCを利用した様々なサービスの提供に関する業務

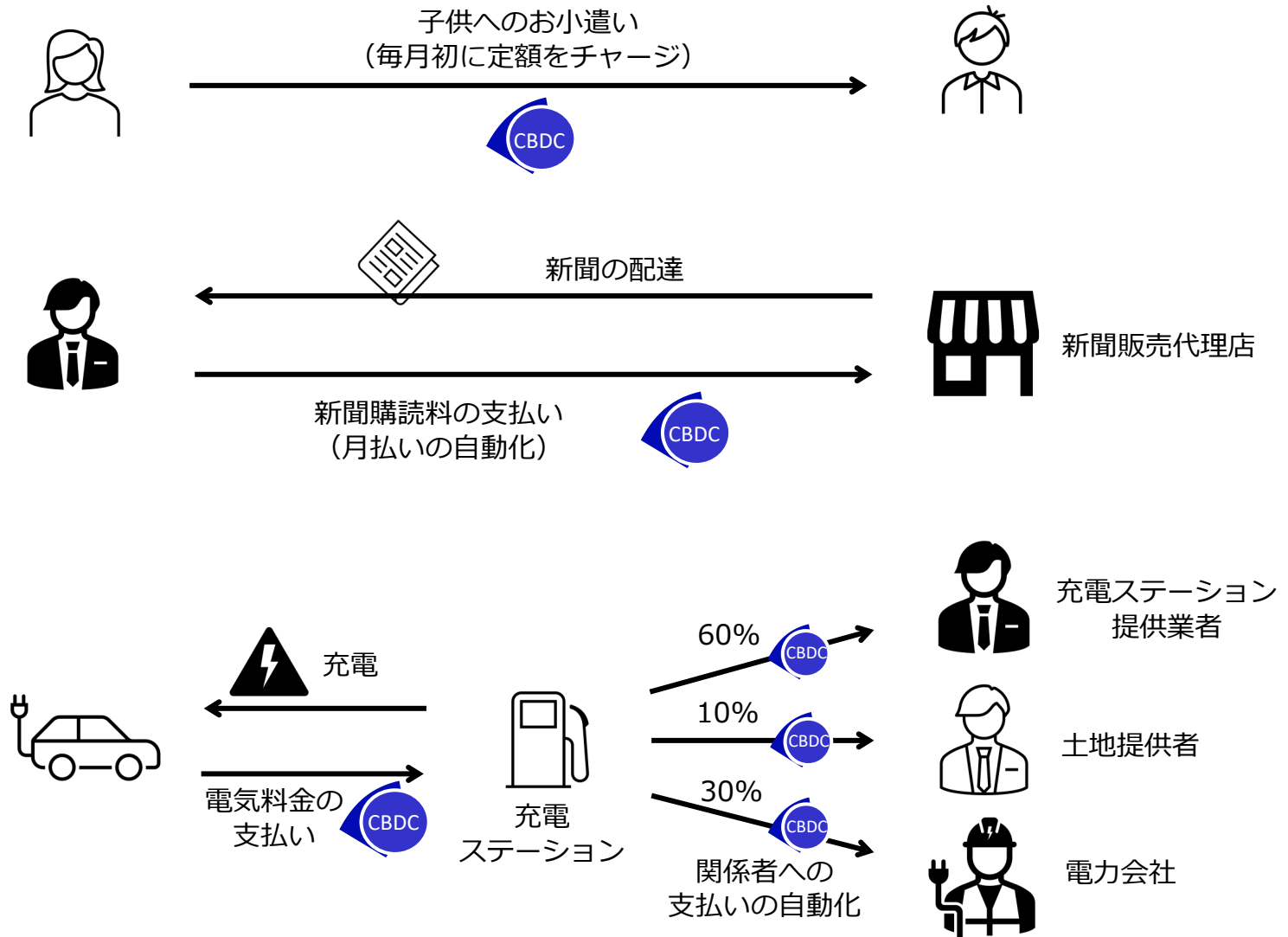
（具体例）

- 条件付き（プログラマブル）決済サービス
- クロスボーダー決済サービス

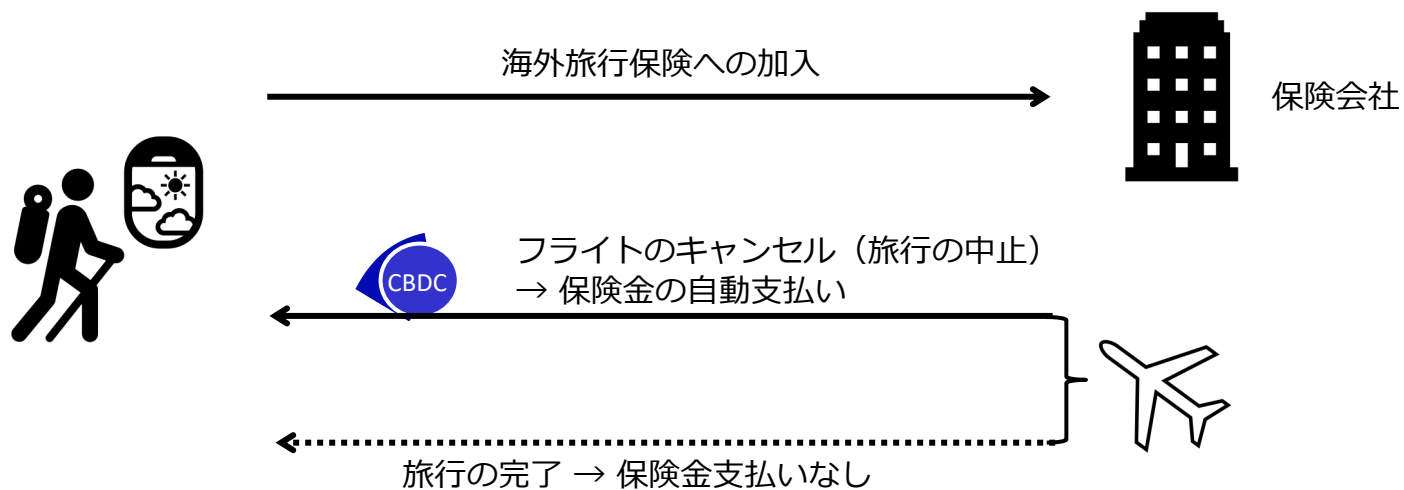


# 条件付き（プログラマブル）決済サービス

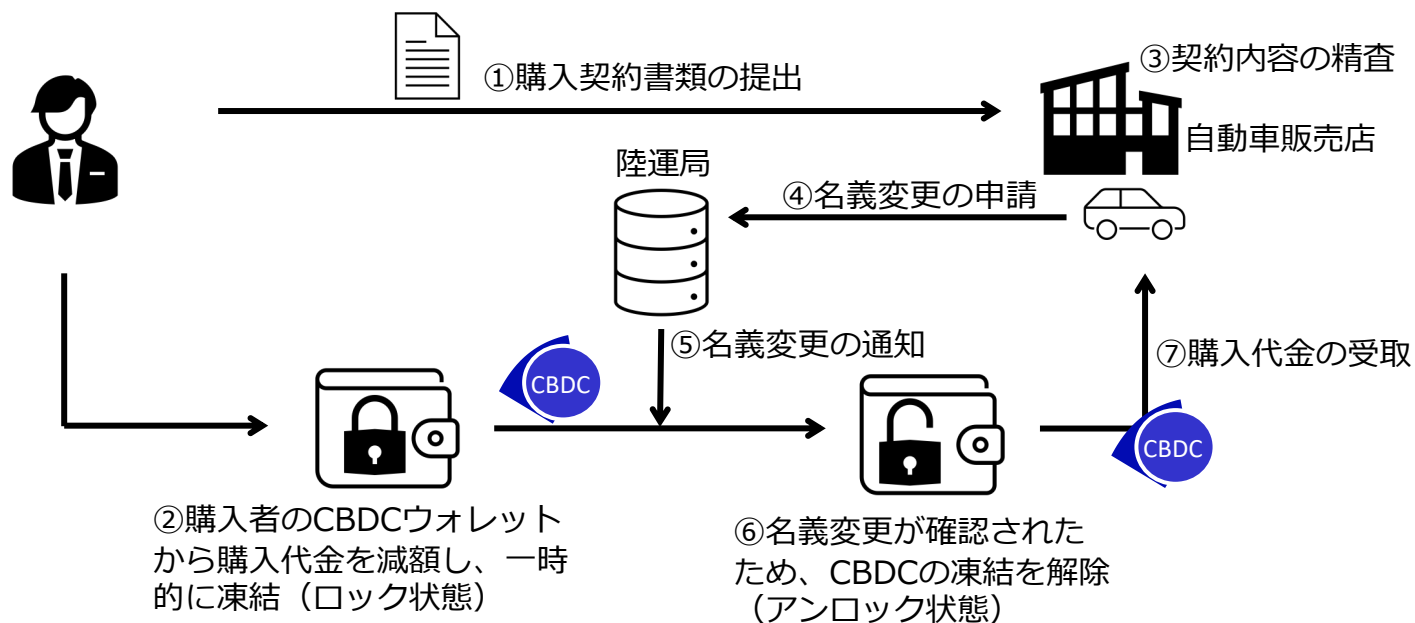
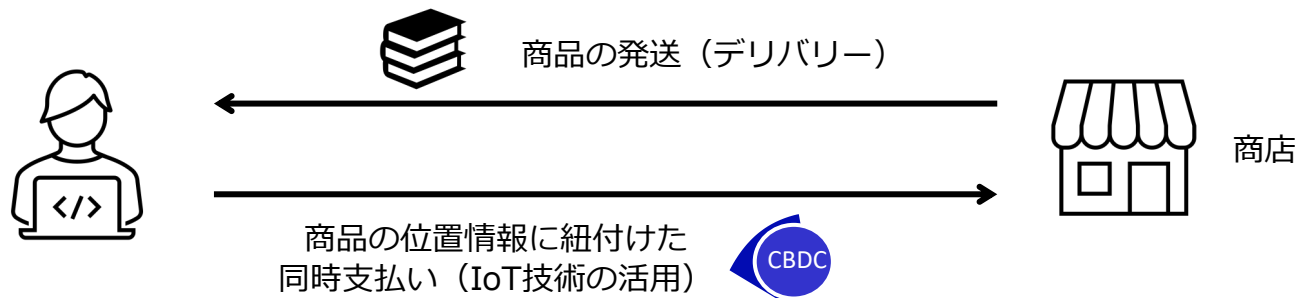
支払いの自動化（automated payment）



# 特定事象の発生と支払いの自動化（スマートコントラクトの活用）



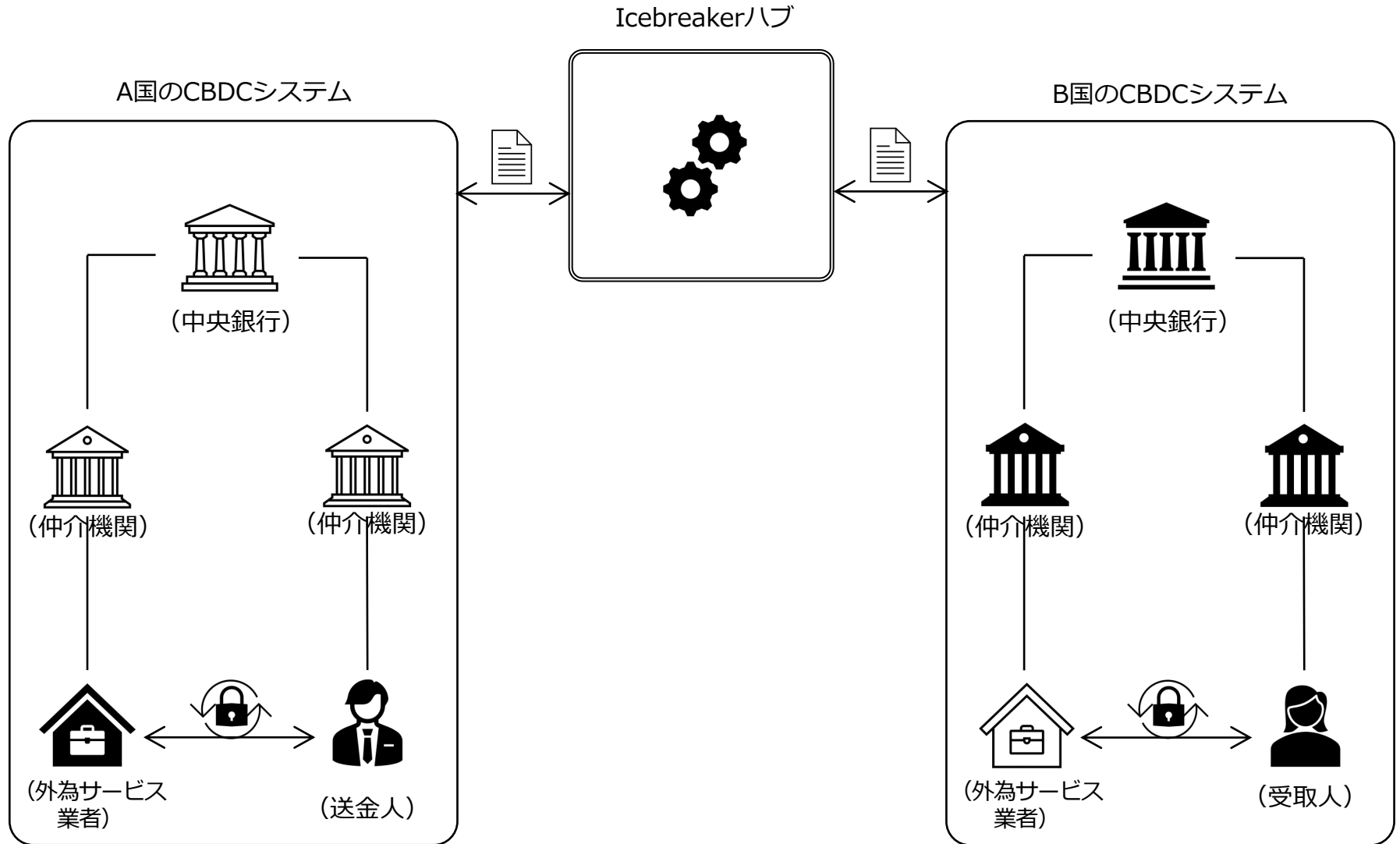
# 財・サービスの購入と支払いの自動化



条件1：名義変更実施→販売店によるCBDCの引出が可能

条件2：名義変更未実施→購入者のウォレットに戻入

# クロスボーダー決済サービス： BIS Project Icebreakerのケース



# 主要中銀のスタンス

CBDC本体への条件付け（conditional money）には慎重、conditional paymentとして実装

民間の技術革新が主導するユースケースの開拓

基準策定や付加サービス実現に向けた追加的な  
インフラ整備

# オフライン決済サービス

一時的なオフ  
ライン利用

- インターネット回線不通時の利用を想定

継続的なオフ  
ライン利用

- 過疎地などインターネットが繋がらない地域や、デジタル機器の操作が難しいユーザーによる利用を想定

## 4. まとめ

# まとめ

## 海外の取り組み

CBDCのデザインについては、①間接型の発行、②個人が利用するCBDCについては利用限度額や保有上限等の仕組みを採用するなど、一定の方向性に収れんする傾向が見られる。

一方、技術基盤（分散型、集中型）の選択、オフライン決済サービスの有無については、区々の動き。この間、ユースケースの開拓を通じた持続可能なビジネスモデルの確立は、道なかばの状態。



こうした動向を踏まえながら、銀行、決済事業者等を含めた幅広いステークホルダーとの対話・協調を通じて、わが国の実情に則したCBDCのあり方を検討していくことが望ましい。